

畑地や防風林等の美しい景観を保全、形成していくため、地域住民や専門家等の意見を踏まえて村独自の取組を推進。

地区の特徴

- ・中札内村は十勝平野の南西部に位置し、小麦、豆類、馬鈴薯、てん菜の4品を中心とした大規模な畑作経営及び畜産経営が展開され、安定した輪作体系が構築。
- ・農業の営みを支える防風林と、畑作4品を中心とした輪作が織り成す季節ごとのパッチワークは「北海道の農村原風景」として多くの人々を魅了。
- ・H28年に「日本で最も美しい村」連合に加盟。



（出典：「日本で最も美しい村」HP）

農業農村整備事業との関係

【畑地帯総合整備事業、国営かんがい排水事業「札内川第一、札内川第二地区」（H2～H26）】

- ・生産基盤の保全を通じ、安定した輪作体系による持続的な農業生産を行うことにより農村景観が保全。

取組の内容

- ・「豊かな自然を未来につなぐふるさと景観条例」（H13制定）に基づき、村の貴重な財産である美しい景観を守り、つくりあげていくため、H25年に「景観まちづくり委員会」を設置。
- ・委員会での意見を踏まえて実現した主な取組は以下のとおり。
 - ①南十勝シーニックバイウェイとの連携による「学校シーニック（景観学習）」の実施
 - ②村内の美しい景観を再発見する「なかさつない景観ツアー」の実施
 - ③ずっと残したい風景の募集（写真募集）
- ・村独自の景観保全・形成の取組としては、住民が自主的に実施する様々なまちづくり事業に対する助成制度「ふるさとづくり事業」を設け、環境・景観形成づくりに関する事業に対しても助成。
- ・地域住民を中心とした花づくりの会による植栽の取組が20年以上にわたって行われており、委員会では花づくりの会などの団体とも意見交換を行い、より質の高い景観形成活動への発展へとつなげている。



なかさつない景観ツアー（出典：中札内村HP）



むらの風景フォトコンテスト入賞作品
（出典：中札内村HP）

取組主体

○景観まちづくり委員会
（地域住民、景観アドバイザー、行政による委員会）